

会社	会社名	三井住友ファイナンス&リース株式会社		
概要	従業員数	1, 469名	業種	金融業・保険業（総合リース業）

1. ねらい

三井住友ファイナンス&リースは、ダイバーシティ推進を重要な経営戦略のひとつと位置づけ、誰もが「働きやすく」「働きがい」のある職場づくりの実現のため、「柔軟な働き方」「時間意識の向上」の促進に取組み、多様な”人財”の活躍による「企業価値の向上」を目指していきます。

2. 施策内容

①働き方改革・休み方改革

- (1) 半日休暇制度の利用制限日数の撤廃
働き方の柔軟性向上、休み方改革を目的に、従来の利用制限（年20回）を無制限とした。
- (2) 短期育児休業制度の新設
男性の育児参画風土向上のため、従来の配偶者出産時休暇制度を分割可能な10日間の特別休暇に改定。
- (3) 夏季早帰りキャンペーンの実施
ワークライフバランス、時間の有効活用、従業員の心身リフレッシュを目的に、2016/6/15～2016/8/31の夏季期間において、早帰り強化キャンペーンを全社的に実施。（今期で2回目実施）
- (4) タイムマネジメント研修の実施
本社移転を機とした働き方見直し活動の一環として、管理職層を対象に、会議の在り方・やり方の見直し、組織と個人のタイムマネジメントに関する研修を実施。
- (5) 「イクボス企業同盟」に加盟
時間制限のある社員を理解・応援する管理職育成を支援する同ネットワークに参画。

②仕事と介護の両立支援

- (1) 介護休業期間の上限延長
要介護者を抱える社員の増加と受入待機問題を勘案し、上限日数を93日から365日に延長。
- (2) 「介護セミナー」の実施
仕事と介護の両立をテーマに、グループ会社が主催する同セミナーへ協同参画。
- (3) ダイバーシティマネジメント研修の実施
全部店長を対象に、ワークライフバランス・ダイバーシティ推進のための上司力強化セミナーを実施。

3. 取組実績・効果

2015年度 年次有給休暇取得日数 : 全社平均13.7日（前年比+1.8日）、
時間外勤務実績（法定外）：全社平均15.08時間/月（前年比△1.32時間）

2015年度「夏季早帰りキャンペーン」

（キャンペーン取組実績）

- ・ 基幹システム利用可能時間の短縮
- ・ 16時30分以降の各打合せ、17時30分（＝定時退社時刻）以降の社内電話を原則禁止
- ・ 人事部によるPC稼働のモニタリング実施
- ・ 退社率の悪い部署への人事からの注意喚起を実施
（効果およびキャンペーンによる各部署での取組好事例）
- ・ 2015/8月度の削減時間外：前年（2014/8）比△0.9時間/一人当たり
- ・ チーム毎に早帰り推進リーダーを任命し、各リーダーが残業時間の自主目標を設定・管理を行った。
- ・ 外出先からの直行直帰を励行し、メールによる報告を徹底した。
- ・ 予め業務終了時刻を事前申告し、超過する場合は推進担当による認可制をルール化した。